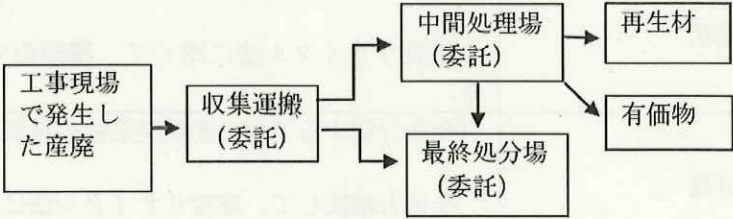


様式第二号の八(第八条の四の五関係)

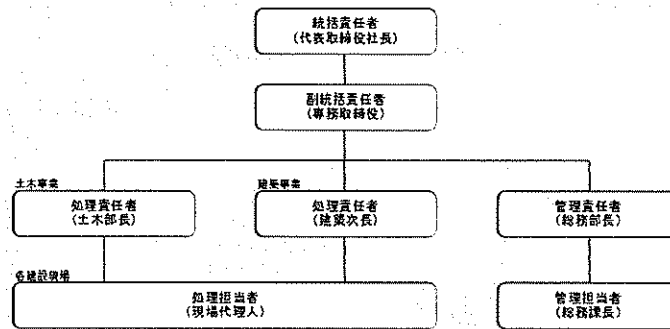
(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 7 年 6 月 23 日	
岩手県知事 達 増 拓 也 殿	
提出者 住 所 岩手県北上市相去町旧館沢20番地1 氏 名 株式会社 佐 藤 組 代表取締役社長 佐藤 寛 電話番号 0197-67-5555	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 佐藤組
事業場の所在地	岩手県北上市相去町旧館沢20番地1
計画期間	令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	建設業・総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高 20億
③従業員数	62人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	排出量	別紙のとおり	別紙のとおり
	(これまでに実施した取組)		
	公共工事主体の建設業ということで、原則的に発注内容に準じているが、排出抑制・リサイクル処理として効果が予見できる場合、顧客提案・協議による実施を図る。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	排出量	別紙のとおり	別紙のとおり
	(今後実施する予定の取組)		
	今後も継続して排出抑制・リサイクル処理として効果が予見できる場合、顧客への提案・協議による実施を図る。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 建設リサイクル法に準じて、種類別での分別解体収集の実施を図る。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今後も継続して、建設リサイクル法に準じて、種類別での分別解体収集の実施を図る。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	—	—
	(これまでに実施した取組) 実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	—	—
	(今後実施する予定の取組) 実施予定なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	—	—
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	—	—
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	—	—
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	—	—
(今後実施する予定の取組) 実施予定なし			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	—	—
	(これまでに実施した取組) 実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	—	—
	(今後実施する予定の取組) 実施予定なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	全処理委託量	別紙のとおり	別紙のとおり
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙のとおり	別紙のとおり
	再生利用業者への処理委託量	別紙のとおり	別紙のとおり
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙のとおり	別紙のとおり
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙のとおり	別紙のとおり
	(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施。 ・法令を遵守し、発注内容に準じて実施。排出の抑制・リサイクル処理として効果が予想できる場合、顧客提案・協議による実施を図る。 		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	全 処 理 委 託 量	別紙のとおり	別紙のとおり
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり	別紙のとおり
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり	別紙のとおり
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり	別紙のとおり
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり	別紙のとおり
	(今後実施する予定の取組) 今後も継続して ・産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施。 ・法令を遵守し、発注内容に準じて実施。排出の抑制・リサイクル処 理として効果が予見できる場合、顧客提案・協議による実施を図る。		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

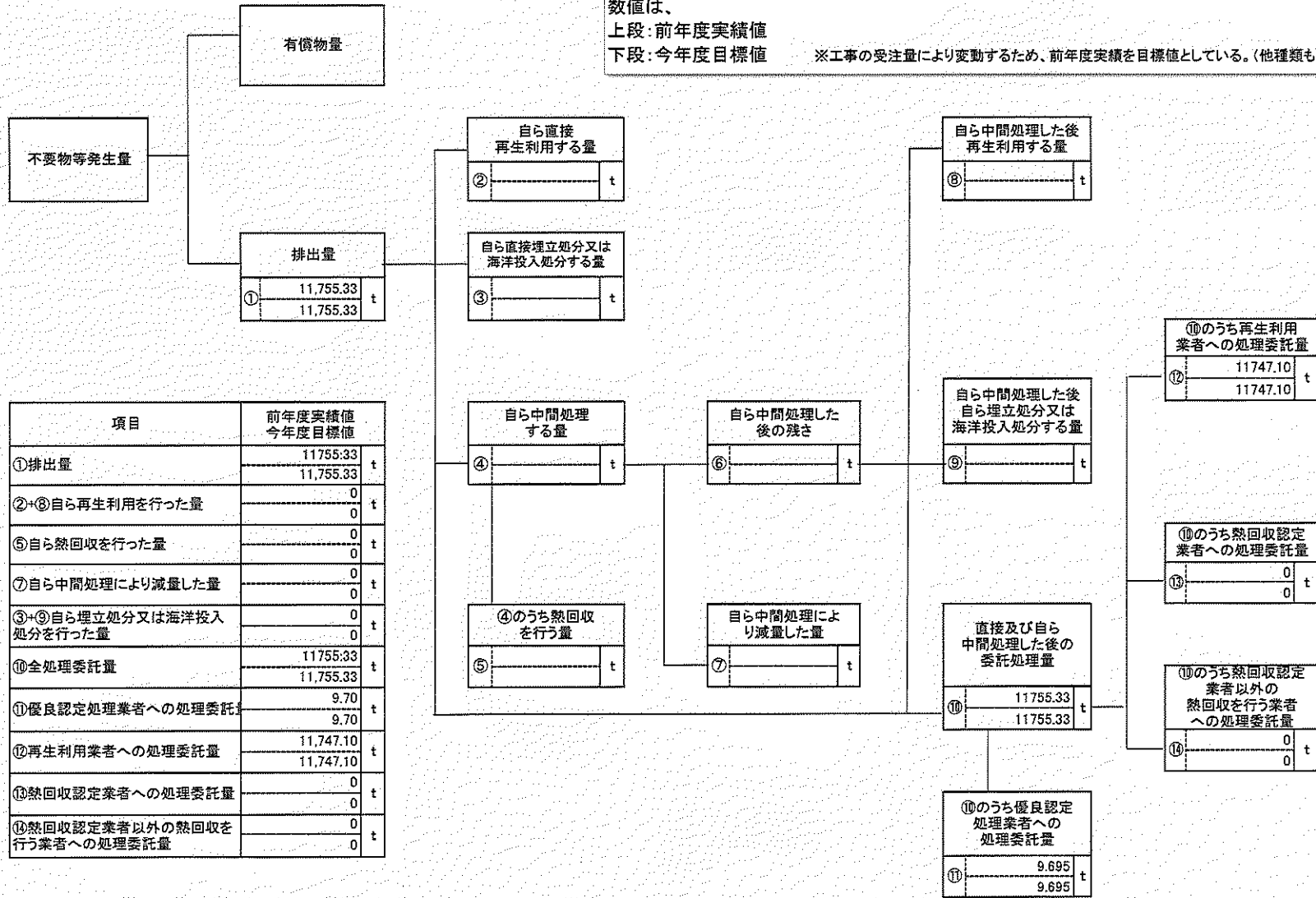
- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 全体)

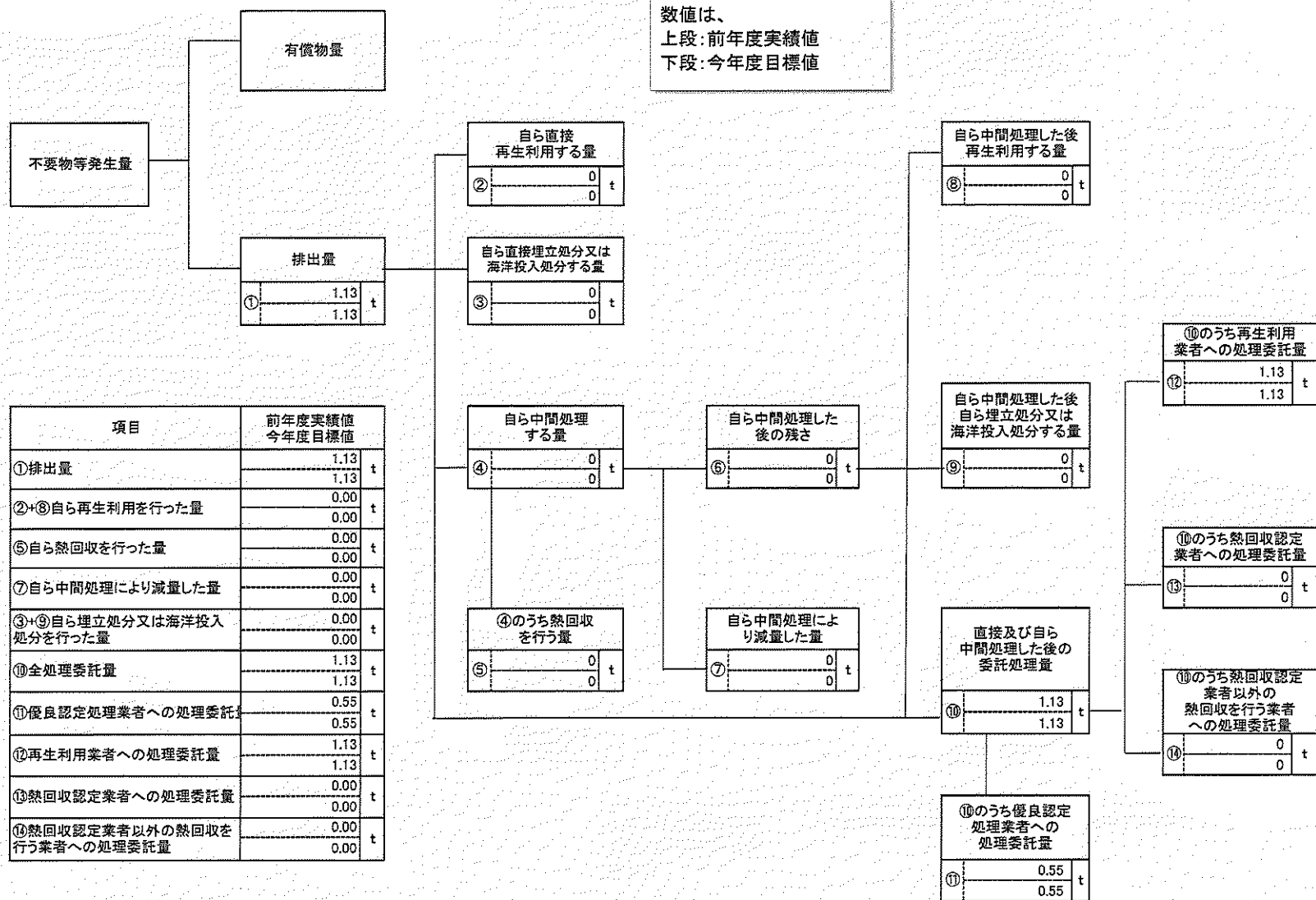
数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値

※工事の受注量により変動するため、前年度実績を目標値としている。(他種類も同じ)



(産業廃棄物の種類: 紙くず)

数値は、
上段：前年度実績値
下段：今年度目標値



(産業廃棄物の種類: 廃石膏ボード)

有償物業

排出量

②	0
	0

③	0
	0

⑧	0
	0

(9) _____

0
0

12	0	t
	0	

0	t
0	

16	0	t
	0	

7.42

⑪	0
	0

④	0
	0

⑥	0	
	0	

⑤	0
	0

⑦	0	t
	0	

項目	前年度実績値 今年度目標値	
①排出量	7.42	t
	7.42	
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00	t
	0.00	
⑤自ら熱回収を行った量	0.00	t
	0.00	
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00	t
	0.00	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入 処分を行った量	0.00	t
	0.00	
⑩全処理委託量	7.42	t
	7.42	
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00	t
	0.00	
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00	t
	0.00	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00	t
	0.00	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量	0.00	t
	0.00	

(産業廃棄物の種類: ガラス陶磁器くず)

有償物量

排出量

②	0	t
	0	

③	0	t
	0	

④	0	t
	0	

(6)	0	t
	0	

(8)	0	t
	0	

海洋投入処分する量	
0	

9	0	t
	0	

12	0	t
----	---	---

13	0	0	0
----	---	---	---

燃回収を行う業者 への処理委託量	0	
---------------------	---	--

委託處理量	
-------	--

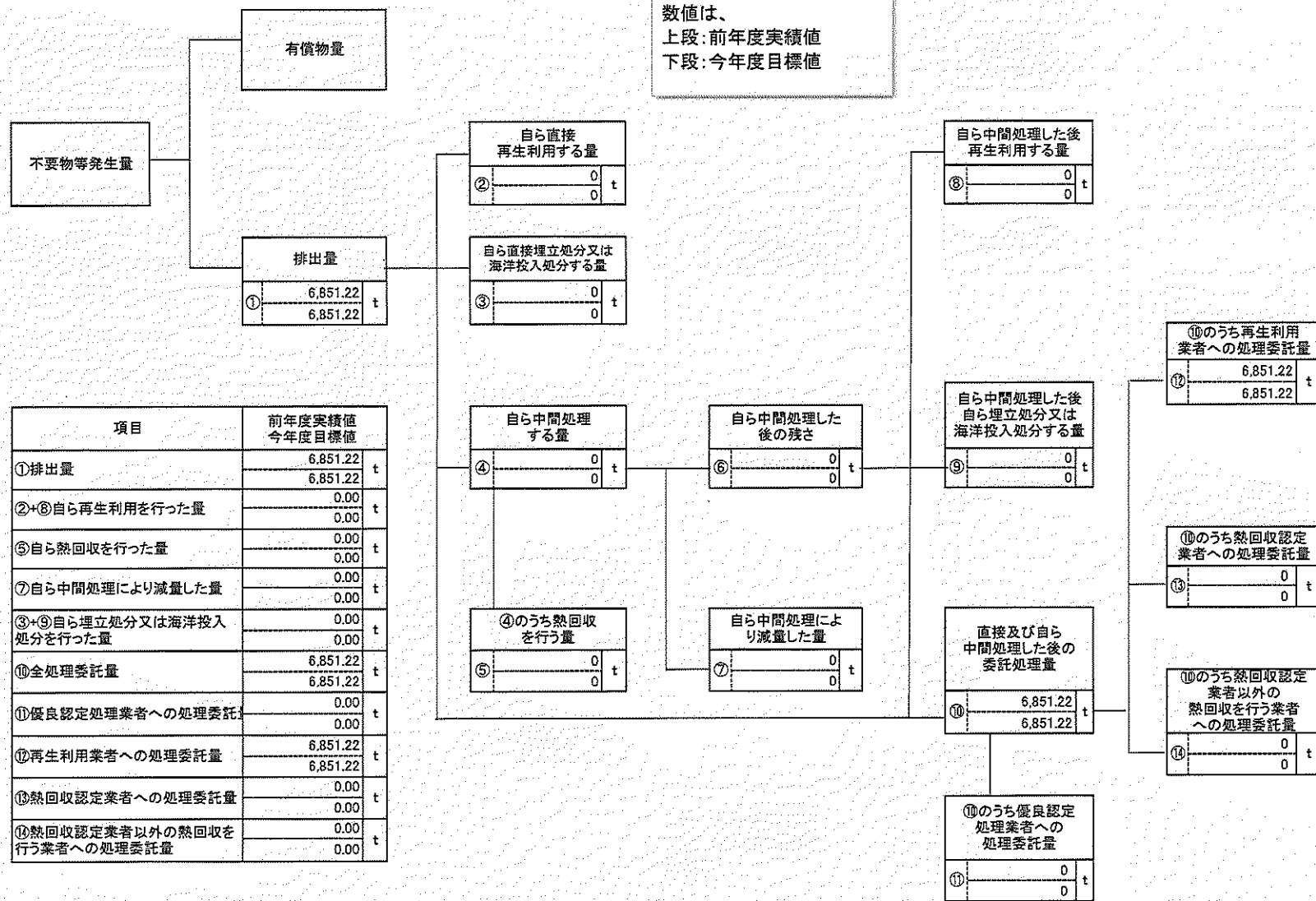
10	0.53	t
	0.53	

处理委託重	
⑪	0 +

項目	前年度実績値 今年度目標値	
①排出量	0.53	t
	0.53	
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00	t
	0.00	
⑤自ら熱回収を行った量	0.00	t
	0.00	
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00	t
	0.00	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入 処分を行った量	0.00	t
	0.00	
⑩全処理委託量	0.53	t
	0.53	
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00	t
	0.00	
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00	t
	0.00	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00	t
	0.00	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量	0.00	t
	0.00	

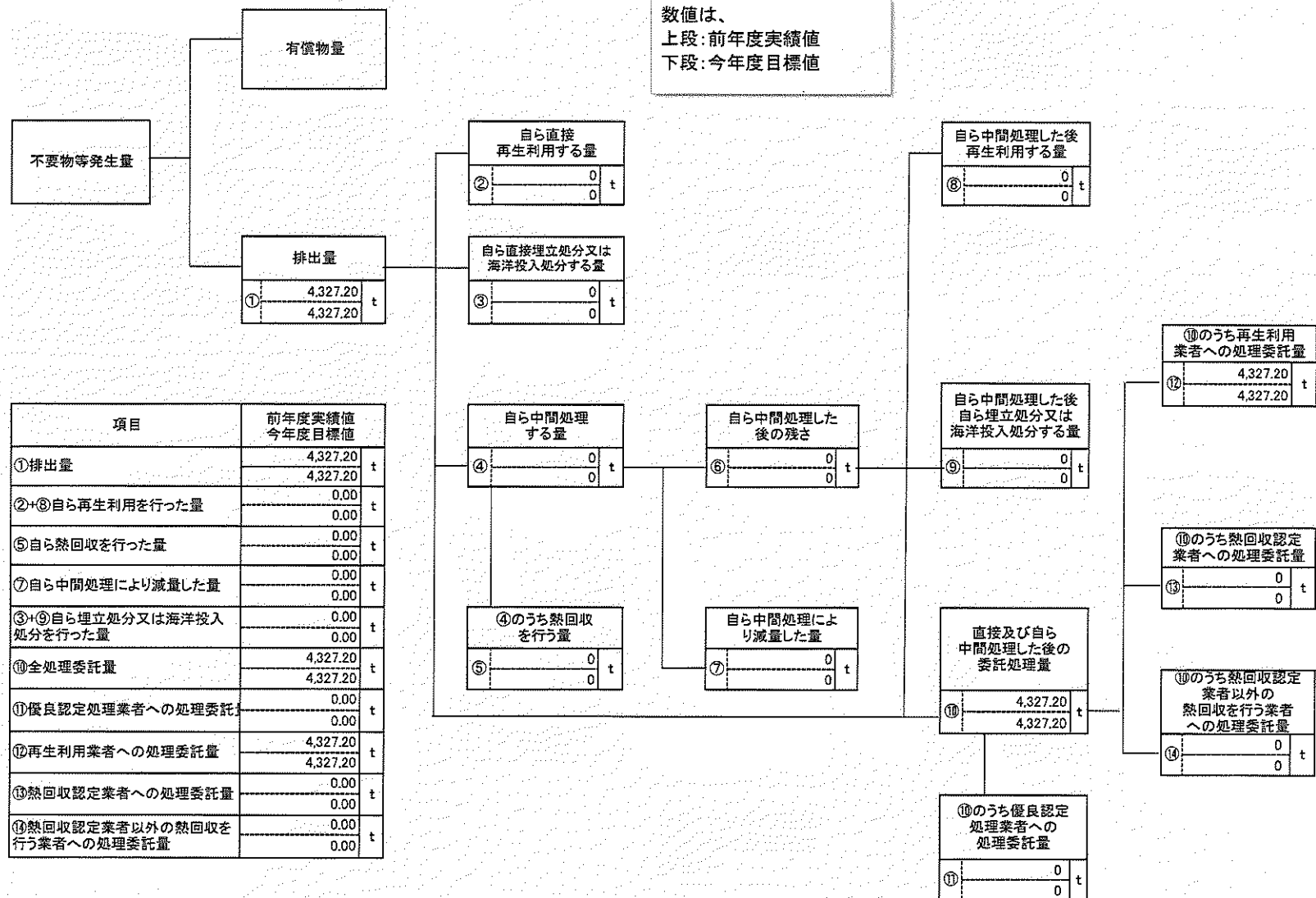
(産業廃棄物の種類: コンクリートがら)

数值は、
 上段:前年度実績値
 下段:今年度目標値



(産業廃棄物の種類: アスファルトがら)

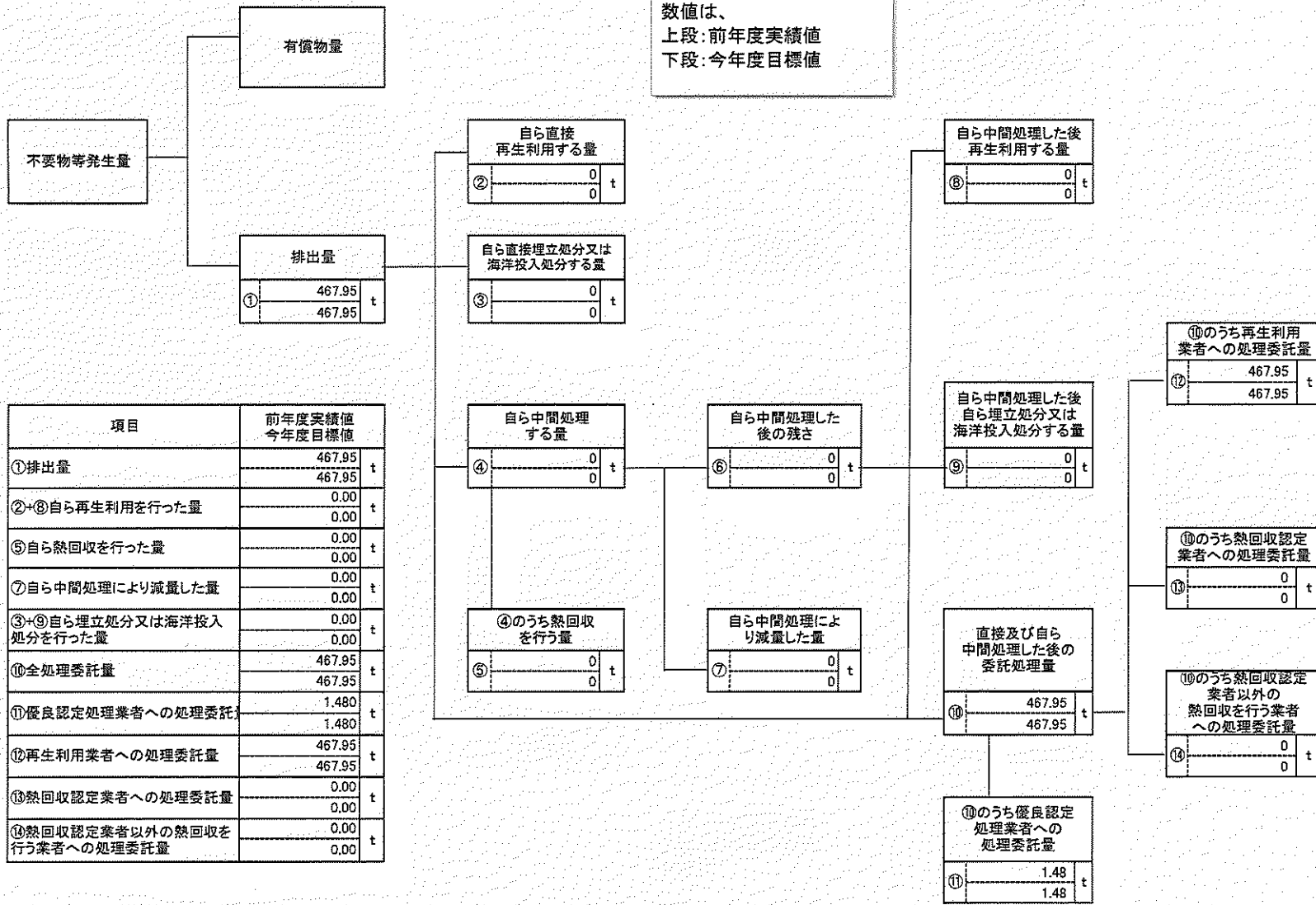
数値は、
上段:前年度実績値
下段:今年度目標値



【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 木くず)

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



(産業廃棄物の種類: 金属くず)

数値は、
上段:前年度実績値
下段:今年度目標値

有償物量

不要物等発生量

排出量

①	0.03	t
	0.03	

自ら直接再生利用する量

②	0	t
	0	

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分する量

③	0	t
	0	

自ら中間処理した後再生利用する量

⑧	0	t
	0	

④

④	0	t
	0	

自ら中間処理した後の残さ

⑥	0	t
	0	

④のうち熱回収を行う量

⑤	0	t
	0	

自ら中間処理した後の残さ

⑨	0	t
	0	

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑫	0.32	t
	0.32	

直接及び自ら中間処理した後の委託処理量

⑩	0.32	t
	0.32	

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑬	0	t
	0	

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑭	0	t
	0	

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑪	0.001	t
	0.001	

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

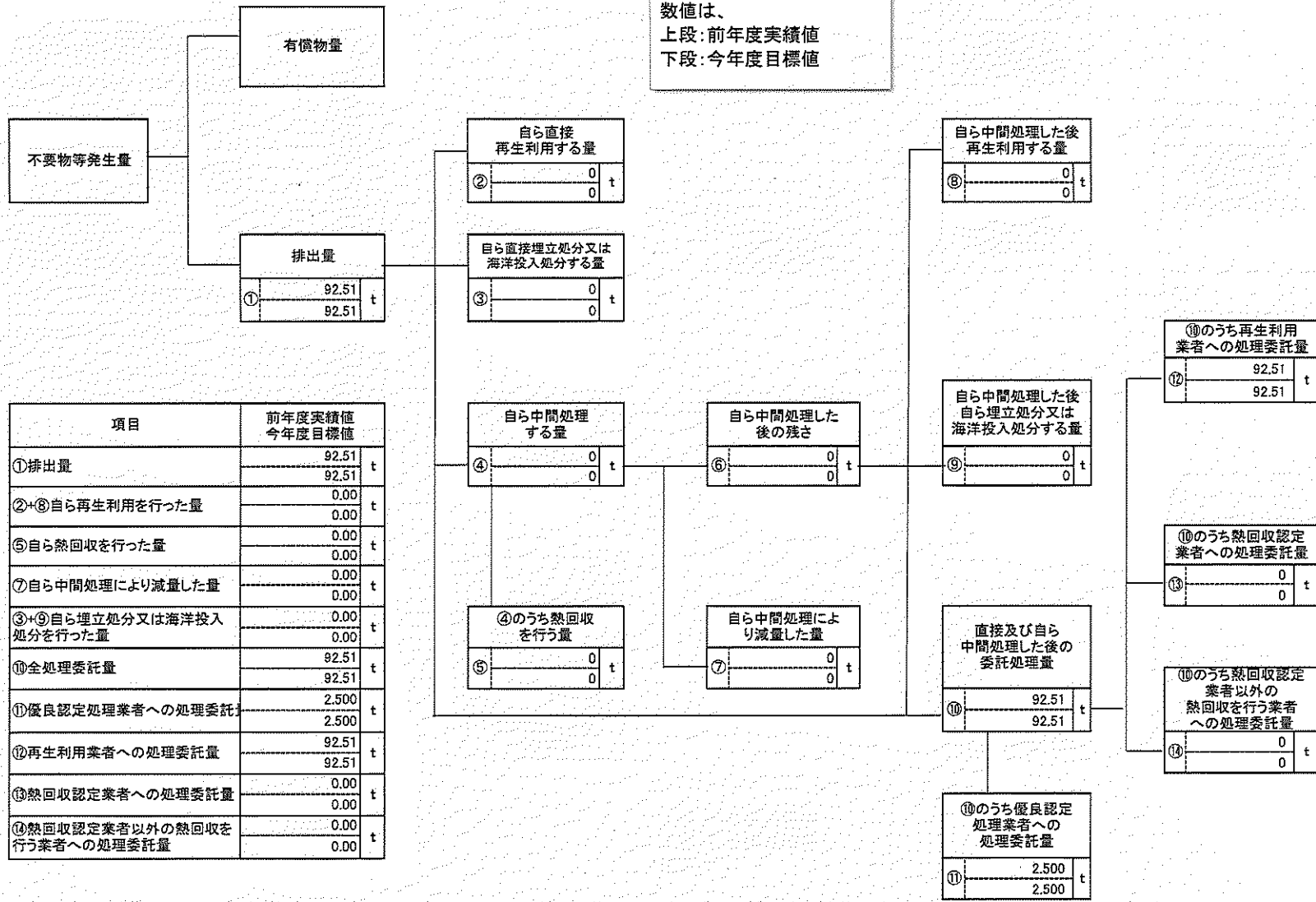
⑬	0	t
	0	

項目	前年度実績値	今年度目標値	
①排出量	0.03	t	
	0.03		
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00	t	
	0.00		
⑤自ら熱回収を行った量	0.00	t	
	0.00		
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00	t	
	0.00		
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00	t	
	0.00		
⑩全処理委託量	0.32	t	
	0.32		
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.001	t	
	0.001		
⑫再生利用業者への処理委託量	0.32	t	
	0.32		
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00	t	
	0.00		
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00	t	
	0.00		

【別紙】今年度の計画

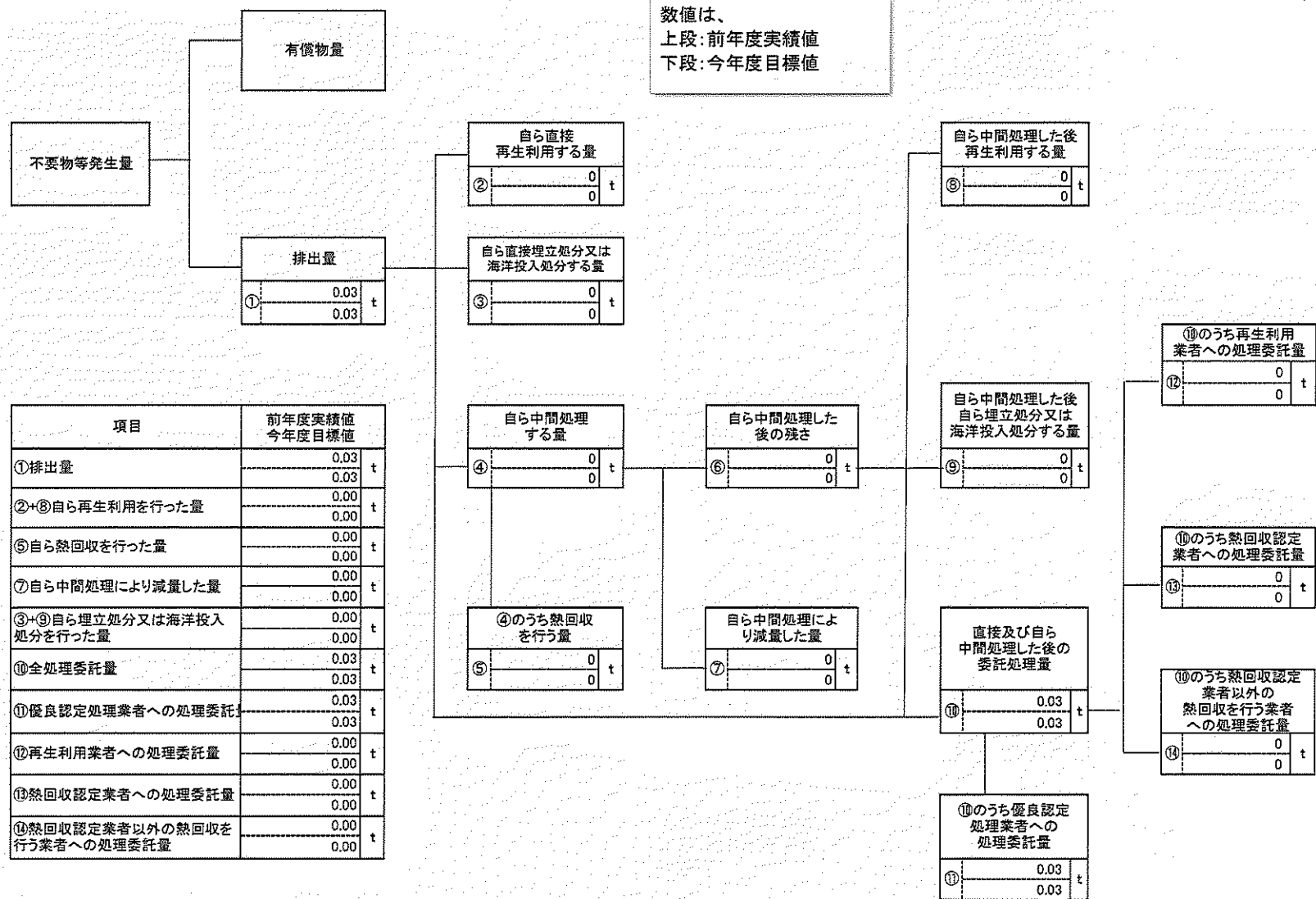
(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック)

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



(産業廃棄物の種類: 水銀使用製品)

数値は、
上段：前年度実績値
下段：今年度目標値



(産業廃棄物の種類: 塩ビ有機付着物)

有償物量

排出量

②	0	t
	0	

③	0	t
	0	

(8)	0
	0

④	0	t
	0	

⑥	0
	0

⑨		0
		0

12	0	t
	0	

13	0	t
	0	

燃回収を行う業者 への処理委託量	0
---------------------	---

0.25

11	0
	0

項目	前年度実績値 今年度目標値	
①排出量	0.25	t
	0.25	
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00	t
	0.00	
⑤自ら熱回収を行った量	0.00	t
	0.00	
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00	t
	0.00	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入 処分を行った量	0.00	t
	0.00	
⑩全処理委託量	0.25	t
	0.25	
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00	t
	0.00	
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00	t
	0.00	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00	t
	0.00	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量	0.00	t
	0.00	

【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 建設汚泥)

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値

